

2006 年度未踏ソフトウェア創造事業

# End-user Initiated Light-weight Semantic Web Services Platform



<http://www.patchservice.net/>

開発代表者：松村 郁生<sup>1</sup>

共同開発者：宮浦 宏暢<sup>1</sup>

尾曾越 雅文<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 京都大学 大学院 情報学研究科 修士課程 1 回生

# PatchService システムの概要

- 非専門家向けビジュアルプログラミングモデル: パッチワーク
  - ・ Web 上のデータ・機能を一括して「パッチ」という単位で取り扱う
- パッチの (1) 登録 (2) 合成 (3) 実行 を全て Web ブラウザを通して行う

コミュニティベースで Web サービスの API と  
連携データフローを蓄積・利用

Web ブラウザ上

(2) パッチワークの編集 (パッチワークエディタ)



サーバ

Web ブラウザ上

(1) Web サービスの API の登録  
(サービスマネージャ)

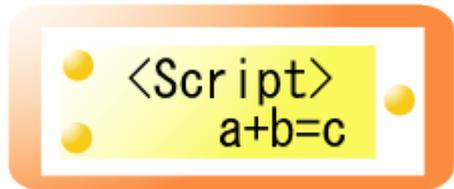
Web ブラウザ上

(3) パッチワークの実行 (パッチワークエンジン)

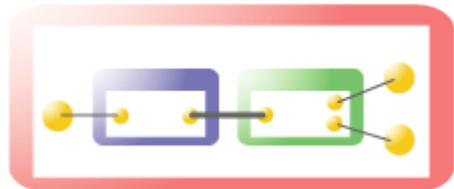
# ● パッチの高い拡張性・オープン性



XML Web サービス (SOAP) と RESTful な Web サービスを実行するパッチ (自動生成)



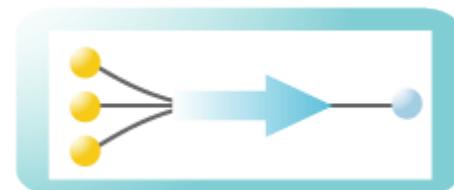
任意の JavaScript プログラムを実行するパッチ



複数のパッチを組み合わせて合成したパッチ



ブラウザに任意の画面描画を行うパッチ

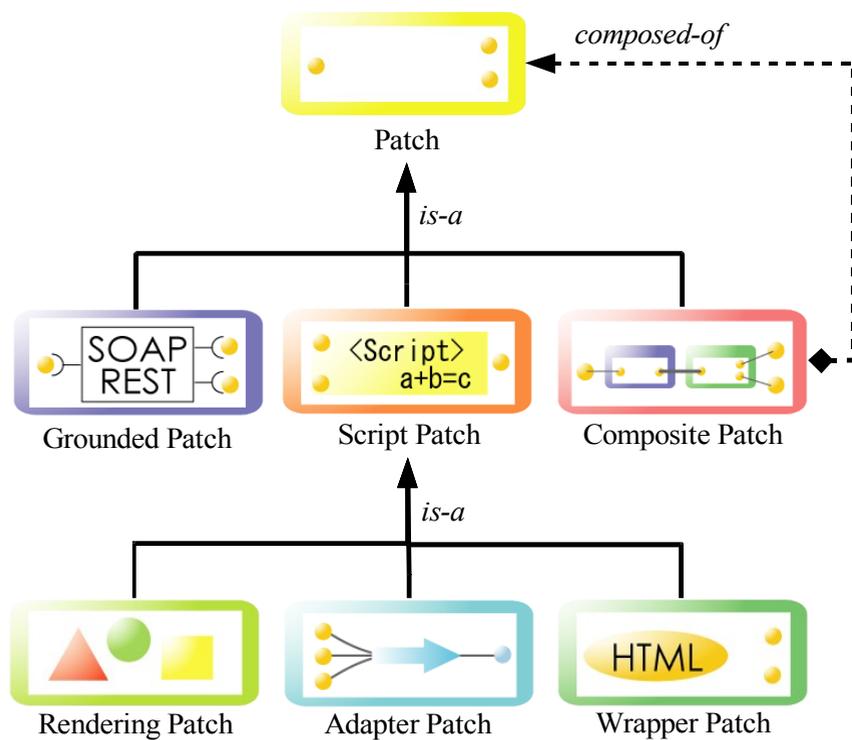


複雑なデータの「型」を単純型に分解, または合成するパッチ (自動生成)



Web サイトの HTML 出力を解析して情報を取り出す行うパッチ (自動生成)

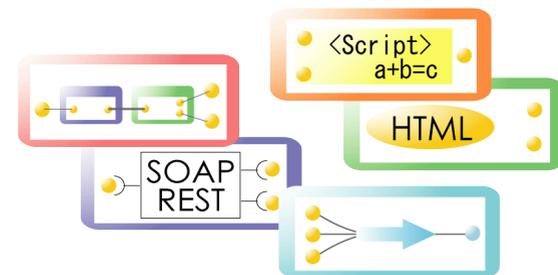
種類の違いを意識せずに, 全ては同じ「パッチ」として合成, 実行できる



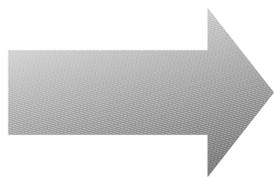
# ● PatchService の特徴とユースケース

PatchService が有効に機能するのは:

- (1) データ・機能の提供元が多数存在し,
- (2) これらに対するニーズが多様である 場合



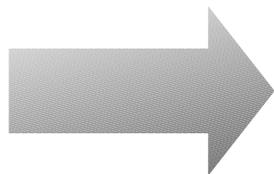
B2C への応用



消費者向けサービス:

- ・ 居住地域に応じた蔵書・書評の横断検索
- ・ 水平分業型ローカルサーチ (ATM, お店, ...)

B2B への応用



ERP の補完:

- ・ パッケージのカスタマイズコストの削減
- ・ 現場スタッフの創意工夫のサポート